日次四

重大となった 成行き である

能業準備

業者間に反對

佛資本や技師の流入必要なし

花嫁さん達

新住しようと雄々しく出かけるのであるが、午後八時廿五 分下間行の急行に乗り込み関 の列車四で只夫一人を頼りに 東京を離れて行つたが、光は る、行に機に 豊館と云

小錢が拂底

なんだと

下官職體

封筒をポケットに でしょうとしてるる揺さに気付ったがの事を、4キになって機は、他の心実け治りに変ながある。4キになって機 べ友達でい」んだよ。あいつ、 いて、ゴロリとまた験時んで、

「やつばり、 後は来なかったが しなさい! 的状しないと。 部版 

質問アリ 

土地家军

関、外動一側の人員を減少し 関、外動一側の人員を減少し 関、外動一側の人員を減少し 関、外動一側の人員を減少し を低利に借替へる外長期に 情答へを爲す等公債の整理を すると共に運輸設の緊縮を圖 るため職員に對しては内動二 るため職員に對しては内動二

製しては一定の退職手常を支 粉し、一應全員を退職せしめ としめることにしたもので、節 しめることにしたもので、節 もので、年間初六十萬圓でお職せ しめることにしたもので、節 で、未曾有の整理断行は從

法部法學校

入學試驗地獄豫想

調查委員長米上院軍需

ペニューヨークー日國祖 米五十二萬五千人に上る綿織物毛織物祭働者の總龍業は愈 上て央行されること」なつたが一日午前に至り總數三十萬 の組織物勞働者も決然参加を 表明したので罷業開始の曉は 合計七十二萬五千に及ぶ室前

最近第二の世界大戦近し等 本の際が旺んであるが、これ等港間の流言は孰れも軍 である、これ等は世界の戦 等熱を煽つては自分達の製 等熱を煽つては自分達の製 活品を酸く海外にまで費付 けこれによつて互利を博し て居るのである、斯くして である、これ等は世界の戦 からばアメリカ市民はアメ

全國箱作概況は八月十五日の 農林省競表の作况が其後の天 候により多少見直しの觀ある が、九州地方は依然旱魃著し 作昨今早冷で一般的には稍々 不良の域を脱し得ないが豫想

より

總數七十二萬五千に及ばん

多少見直す

の大龍菜となる筈である

總罷業斷行





港の彼女達川 最後の切れ 本澤大 柳 下 類 特 東子

大附於大學) 類 明 柳 紹子 工學

看護婦附添婦

放五七〇五巻

案内

ぐれて、浴つたかつて 「おかしい、まだ、とぼけつち 火つた。 那里子が、歴史らしく恋々ともうつもりだから……」

9

からかありがとう。 なんだおやぢ、

リカ人自身の手で造つた武 のだ、今日の世界政治組織 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 を見るに陸海軍には各獨立 ない、我々は宜敷く陸海軍 をい、我々は宜敷く陸海軍 をい、我々は宜敷く陸海軍 をい、我々は宜敷く陸海軍 をい、我々は宜敷く陸海軍 をい、我々は宜敷く陸海軍

なんでせう、学代の健康なんでせう、学代の健康がないさ」。 『佐郷がないさ』。 『佐郷がないさ』。

州 年 度 總 豫 第

廿一億圓を突破せん

資本利子稅等の增稅考慮さる

無い植はふら

るないんだわ…… ぶつきらなに、答へ行ら、ない

被雇度等出来ます

東二條通り醫甫度らに至急側侵殺します あ

電話用速部 電話用速部 電話用速部 電話賣買 話賣買 陽堂

新家日之田町一ノ十六 緑野……文章 立案 新湖湖州

東と見詰めてある。 草軸を抱き にピンで無路作に止めた駒山を

印 **刷 電話五五二三番** 新茶にて品揃 みどり茶園

新京鐵路局 八月中旬貨物輸送

た事は非常な注目を遭いた か自らの懐を肥やさんとする が説中で日米戦争に言及し た事は非常な注目を遭いた

特 整に考慮を求める ・ カラガ、ペネヅエ ・ カラガ、ペネヅエ ・ カラガ、ペネヅエ ・ マネジエ ・ マネジエ ・ マネジエ

乙類試験

新京商菜學校調堂

大森醫院

那里子もついて還入り行ち、

の歌の中へ入っない時の窓類を吹きとばして丁

既比のとつよ

促進し、積極的に片質易調が商品への関税別下げ其他

最惠國條項締結を要求し我

家を痛撃

軍需品製

片貿易を調整

新貿易樹立を急ぐ外務當局

一、荷動狀況(八月中旬分)

田、旬末構內在貨噸數 前旬 前旬比較 17.640 △17.150 ※至 △07.10回

著物を示せり 電味に於ける構内在貨及院内 では変主要品目別に示せは決

17-410 率大、額東北大恩講堂 信受験者は五日午前入時半迄 に各試験場に出前受付新勢票 を提示の上受験票の交別を受 け係員の指揮を受ける事にな つて居る 京濱防空演習

「大連殿通道」新京まで民運轉型九七○號機闘車は客車四幅型九七○號機闘車は客車四幅型九七○號機闘車は客車四幅

時連介キャで走つたが機関 の各部に就でも申分なく、 動揺も思つた程なくて乗心 地は議監です、給中路線の 地は議監です、給中路線の ならぬところもありました。 回家

工事は限をパナー ら、この間中、とげけて 限の お友選」 一方せて、

と言なから断髪ので、ずつととはないのと、ないのと大きななった。工業と関じ事科 彼は此の中で、都合のよいは

一がたったったって

になって、こくりと解析を無いれる。 「他い! おは、、、、、、 ぶりさんが身元派 工業に関かれた際に配き上の おはころと、変か、 製べに来たわり あの代のこ こんで、皮膚が楽ひを 類に作いたで、皮膚が楽ひを 類に作い 「若しや」

新機關車試運轉

夏·西七四三

成績は上乘

くる友達のことを、しきりに 工機は、鶏鼠を見ながら、管 「智川は、酢夜、何板米なかつへてゐるのだつた。 古さそんな皆にな

所尾新聞舖 解寫() 朝日新聞 新聞歌 朝日新聞

英國製高級煙草





マテノがハタと山んで、枕井 ぐれて、 野里子が、特い開いた殿の内嶼 「おかしい から戦く。 ・ 「工廠さん、工廠さし・

かし、どうしてゐるかな、昨

工職が馬鹿でかい屋で、安息

美術看板 午 mersonanies

G 店



# 日本海軍防備隊のいさをし 日滿海軍戰鬪槪報

路に慶寧を、下流台流點に普一日午後十時牛營子本支水路 不明なりし處、同十時半廣慶 一、登場龍江省岸の村落を捜査せる 弾薬等無龍江省岸の村落を捜査せる 弾薬等 京鄉鄉町 

**贸射彈數兩艦計入權約七** 米人二、滿人三、 し、八十名を以て列車を襲撃 共内二十名を中の鳥巣窟に残 共内二十名を中の鳥巣窟に残 大内二十名を中の鳥巣窟に残 一計伐 一受け、その人質 を連れたる二十 し、日補軍の

方面掲載の的となつて戻る。 強せぬ機能な追撃と一糸亂れ

村上氏の犠牲的勇猛

戯激の

藤澤威雄氏(貴族院議員摩澤 ・事敦出された内閣資源局技師 ・事敦出された内閣資源局技師 ・事教出された内閣資源局技師 一の寒気のために痛々しい迄に 二名は拉致以来六十時間余り 名(村上氏は廣寧で先着)外

萬歳を叫ぶ埠頭 邦人八名着哈の劇的シー 利喜太郎氏合气)外日本人五 報に接し、

り、二日午後七時駐鴻海軍部間下鞍山方面の管下巡詢中の日下鞍山方面の管下巡詢中の

岩佐憲兵司令官

電が寄せられた

・氏は傷めて元

同氏は本年四十八歳の働き級

を救つた

心境を記す

人質の其後の健康は相密報遣

身を挺して人質

からざる可しと言はれ、救出 が、食物の不充分に加へて登 での別なく兇暴なる順域に引 での別なく兇暴なる順域に引 が、食物の不充分に加へて登 が、食物の不充分に加へて登 が、食物の不充分に加へて登

● 大連金砂票

現物

三日

より

三日間上映

秋名 の書名三

篇本 即立

と遺離者の氏名を呼んで萬地に持つた五百余の市民は口々 市民、米人居留

又開東盧地方映動お時代にはして從軍し抜群の戦功を挙げ

他の人質八名の危急を救つた 村上条太郎以はボートより防 備除廣寧號に移され直ちに重 備除廣寧號に移され直ちに重 が進を求め六十餘時間生死を 共にした八名に對して欲跡も

7

の 日 く

配した腕章をつけて居ました 工作業の作成等に施の資を見せ満洲観史上に活躍した人で又非常に孔帳面な性格の持主で常に部下を愛し、責任感に強く青林省三浦総務優長からの信任最も厚く今後吉林省東北地區各縣の襲る事官をリール地區各縣の襲る事官をリー 本 州建國と同時に吉林省公署に入り、選ばれてハルピン駐在 を命ぜられ光の依闕事件には を命ぜられ光の依闕事件には を命ぜられ光の依闕事件には

各位の生命を金比羅大橋現及ひ伊豫大三島大明神に新 でした、各位このお考へに て機會あらば御禮参りを額 む、小生は夢りつふにこの 御神監をうけた

選休の模様、ペスト以上に危べスト侵入を恐れ北鎌省部様

大連煙合向 阪神日米爲替 18第1条分割

演主 子紋探飯 郎太好本阪

あり

急襲六十時間にしてこの偉大それにしても日本陰殿鎌負の

なる結果招來

に拉致人質奪還の因をなす民政部村上氏の犠牲的勇猛発

色伏魔殿

至極元氣 速いか

ハッ数出の動機

大麻氏は目下赤十名公署ハルピン慰通)

て居ました人質w湿の際匪 も何時迄も感謝の涙を捧げ 氏を命の恩人だとて何時迄 (ヘルピン図通) 遺離場所よりへルピンに急受された吉林省公署ハルピンに急受された吉林省公署ハルピン駐在員村上乘太郎氏は目下赤十字病院に入院し、夫人静代さん外愛兒五名並に關係者の提ぐましい看を受け加懋中であるが、下

八木艦長當時を語る

院直後額骨のくだけた部分を

この模様では綺典は復して

では綺典は復しても穀與令平常化近しと

同量新新 2000 新新 2000 10000

事

**雎賊といふ奴** 

各地市場

色テロの翻訳的交通妨害によっれた北縄は匪賊の襲撃、赤っ 掃論囂々擡頭す

日滿當局斷乎猛省を促さん

従来の忍從的且つ微温的態度 やたる列車棒事に鑑み日滿富 同は背後の黒幕暴露に鋭意努 力中であるが右貫相判断大場 を根底から覆へしてその禍根 を一緒すべしとの論繁々接頭 せられて居る、尚赤色伏塵殿省を促すことになるものと解

人質の健康 ▲張燕卿氏(質菜部大臣)同から

战台

座

小學軍大

人生人人

++

ものである

めて救出に成功した

手當を致しました、 雨傷で

いとの事で安心し

**領を打ちくだりした。** 一弾に村上氏は無惨にも下

口に擬した銃を預射し、此と其瞬間驚いた匪賊は轟然

た、即ち三日まで営局の情報 標のてみることは確實となつ 原南にソ聯共産黨員の魔手が のであることは確實となっ であることは確實となっ であることは確實となっ

一、列車襲撃の歴 数回に 耳り密合

関は露人数

角になり匪賊の集中射撃に強と日本管薬兵の車輌と直線と日本管薬兵の車輌と直

氣遣はれる

動かすべ

からざる證左舉る

名が指揮してみ

るたこと 搭乗した拳動

は 山○殿の山本部線、左翼は吉 林軍警、別勘除は附近各部落 は を包閣しつゝ追撃、他方空軍 いた の の で いんどっより 出動の 江坊 よ

を は 強かに 世七名となり、 陸歌 を 強動を 浴びて射殺された といって は 他かに 世七名となり、 陸歌 ものは廿五名、外の二名は血 臓の猛射を浴ひて射殺された

商字は重傷の村上氏の手信 てを一刻も急ぐので艦の運 用に必要な最少限の人員の みを業せ、陸職除員、ボー ト等全部を現地に残し全速 力で跨つて来ました、途中

ルピン特派負村上氏が

るのだ」と大陰に叫んだ

時間が過ぎたが突如寂漠をす、約廿分不氣味な無言の

五家子濕地に追込み成功

疾風迅雷的に殲滅

の奪還隊

込まれて成職されるので救匪賊に「摩を立てたら射殺

機隊間近かに在りと知り

らも救ひを求める事も出來

賊は約八十名居ましたが何

距團と

關係

最早嚴然た

る事質

H

各方面の感謝の的

で、最初八十名乃至百名居たし、その行動も散速で、相當は織的に訓練されて居たものをな然器弾薬を有

され約四十名は孔家棚に向に於て双城縣自衛閣に

走經路は一日深更挑家

二隊に別れ逃亡

方二騎里の地點で

査を始めるや人質の人々は すが、我陸職隊が附近の捜

名を敷つたのです、無事なは全く一身を棄てゝ殘餘人

は、 の地點三性屯で五省、長海 一、列車顕覆技術が 一、列車襲撃事件の数日前y 共に各車輛のドラ 一、列車襲撃事件の数日前y 共に各車輛のドラ が大産業員が双城堡方面で んと策し一、二十 を妨害し突如姿。 を妨害し突如姿。

山姿を消したこ 二等車の消費 一等車の消費

等の有力な設定が厳然と挙げが専門家の指揮に依り配備に依り配備に

漢田少將 (軍政部顧問) 同

詳細御問合ハ

電話三三五七番

店舖住宅事務所向

イベルビン関通」 所服のため 大質となつたもの及列車事件 遺離者の遺留品はヘルビンに 送達されて來たが、その中に 法でヨッキ、帽子、上衣、靴 トランク等種々難多あるが、 ▲ 検通省教習生四十二名五日 年後一時五十五分来京 ・ 本宮城縣青年脚七名六日午後 ・ 大時五分來京哈市から常盤 ・ 旅祭投宿七日午前六時三十 分勢南行豫定

北陸製版所

約規定の一萬順入时砲に縮

一、主力能はワシントン條約・サー般會議に於てサー般會議に於て

一、主力騰はワシントン條約機の平の単層順数三萬五千順十四时に縮少する一、航空母艦を廃止す

外經濟

事を提議したが、帝國政府と 進步的主張を爲さんとする模 統空母がの廢止、主力艦の総 少は飽迄これを強調せんとし て居る

アス米米米盃研開除 ▲ナチ支日英買資級 米ンル鉄鉄サンル 

聯の聯盟加入一

優秀武器を 【ヘルピン関通】列車を襲撃 した順賊は江東、常好、五勝 三先生、和平、太平好、無龍 佐勝等の八頭目より成る合流 歴劇で、チェッコ製機関統二

て順賊の爲人質として拉致さ州日夜南部線列車襲撃に際し

最短レコー

ドを更新

即刻斷行を强硬主張

聯合艦隊方面の意向

一時間

一糸観れぬ陸海空軍の連絡

僅かに六十時間と云ふ最短レ

には相當の日子

部を無事故心し得たのは慶事 部を無事故心し得たのは慶事 部を無事故心し得たのは慶事

に入る事を示すので、通告は再開の國際軍縮の原則論は再開の國際軍縮の原則論

で、日本に不利と云ふものあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とするのあるが、自衛を主とする

ば、米園より受ける脅威は
に成功してゐる狀態である
に成功してゐる狀態である
從つて右條約を廢棄せざれ

印

能性濃厚

の對策が決定した上は速かに聯合艦隊方面においては政府

・等條約の鍵則を脱し、通告の権利を行使し、

は外国の物語時期は

常時軍縮條約を締結する米海軍では悪府條約の締

は注目してゐる 即は注目してゐる 即以上の如き全語單如何に全無 即以上の如き全語單の要竭を擔

東洋殿攻陣を完成するも同の援助で艦隊を作り

エート聯邦の関際聯盟加入問題に関し、英、係、伊三國政府は夫々自國の外交使節を介して聯盟各國の倉南を探らしめつユあつたが、英國官遇より非公式に開知する處によればこれ等三國がソ聯邦が何等の支障も無く聯盟加入し得る見込みは極め

加空母艦の廢止と

艦の縮少を强

日本政府、次期海軍會議で

進步的主張をせ

山海開外國駐車内に流行病
「本天國通」當地への情報によれば山郡開駐屯外國軍隊内に流行病

東

で、通告の腹利と子を を観られるので比率良改の 理由と認めずと米國あたり が高飛車に出る惧れあり

なく艦隊自身が問題であ

除かれぬ

英佛伊

が積極的策

高眞は | 愛媛縣教育観察幽

(中) 宋光鳳喜雄(下)の諸氏

大陸空の三方面より大活動を 減け、匪賊に拉致された日米 競の選手より奪還救出するに 形の選手より奪還救出するに だったが、今回の救出は實に が、今回の救出は實に が、今回の救出は實に でったが、今回の救出は實に が、今回の救出は實に

七五三一二十現

れも死亡し、大恐慌を起して

社會式株產物井三 元賣被

▲上海日本向

BLACKTEA

★上海倫敦向 ★上海和育向 ★上海和育向

五百八003 五百003 五百003

日案

常本床 張用材 商 平和洋行 マニキ版 各種 商 平和洋行

際し優良なる。

支店 新東老松町十二 への放資は當店の 證券部 久記証券部 御利用下さい!!

支店 奉天宇治町三 アスでは高價に買入 監話 第二〇八五 ===

來る特産出廻期の活躍見もの 手具脛ひ く總局側

頃から實施する確定である を計鑑しつゝあつ たが態々成案を得 たので、十月を計鑑しつゝあつ たが態々成案を得 たので、十月

しき輸送を開始すべくハルビ の秘密割引に對抗して華々 がの秘密割引に對抗して華々

關東軍平時給與 十月頃から實施

は貨車繰りの計畫に萬遺漏な きを期して居る #電三村博美南氏の遺骨は三十一日午前勝京の豫定であったが匪襲事件のため遅れて二日午後三時二十五分着列車で東京一旦課待合室に安變し關係者多數の總否を受け直ちに保着多數の總否を受け直ちに

善光寺大本願の 尼公上人

職事 職病 没過 士追悼のため 職事 職病 没過 士追悼のため 西公園裏忠碑前で慰靈祭を執 行し、引織き南嶺殿蹟で同様 行し、引織き南嶺殿蹟で同様 位會長田中舎身氏の秘書小林 碧水氏は三日地方事務所その 他を懸訪してこれが準備打合 海軍 職病 没刑 士追悼のため

密輸ごギ

t

ング

に對抗す

財政部の新規計畫

口次長を迎え

中後三時六分曹陽時列車で東 新任挨拶を述べ十一時から旭 食堂において現場助役級以上 の社員を集め摩護會を開いた ては午前八時三十分から加出 で業生社員十一名及び鐵道事で東 が開かれた、なほ沖田主任を中心に本年 本業生社員十一名及び鐵道事で東 を業生社員十一名及び鐵道事で東 を業生社員十一名及び鐵道事で東 を業生社員十一名及び鐵道事で東 を業生社員十一名及び鐵道事で東

スペルピン園通】北鐵南部線の空前の列車事件で内外旅客である折柄、一日北鐵東部線である貨物列車第九二会はれてある貨物列車第九二会はれてある貨物列車第九二を形成が、機関士の機敏な行動

を恐れ再ひジャンタに戦々を を恐れ再ひジャンタに戦々を たが飛行機の湯管や銑摩を聞 いて急に方向を變へ南方に松 で「打つぞ」と脅かし乍ら我 け「打つぞ」と脅かし乍ら我 か「打つぞ」と脅かし乍ら我 か「打つぞ」と脅かし乍ら我 か「打つぞ」と脅かし乍ら我

理、的、給等状陽に銀鱗を躍ら 人沼に河に糸を垂れ朝釣より 人沼に河に糸を垂れ朝釣より 人沼に河に糸を垂れ朝釣より 人沼に河に糸を垂れ朝釣より 人沼に河に糸を垂れ朝釣より

相一五六〇〇名

四本一二で家天勝つ、閉酸四四本量があったが送に「特別の本量打あったが送に「阿潔原の本量打あったが送に「阿潔原の本量があったが送に「阿潔原の本量があったが送に「阿潔原の本量があったが送に「阿潔原の本量があったが送に「阿潔原の本量があったが送に「阿潔原のあとをう

對撫順野球

掛きだと

だといつて支那風呂くらんがといって支那風呂くら

けふの

かりの担ひだつた

立つば

近かだ」

然し摩をたてたら最後鼻光に 火きつけられた続で唯一酸だ い時の間身じろぎもせず如何 にしてこの危機を切り抜ける かに迷つた、摩をたてれば所 在が解らない、摩をたてれば所 をが助かるには何分にも最少 限度二三名の犠牲者が出ると 限度二三名の犠牲者が出ると と 思つた、一隻の捜査験のボーー

銀相場 111百人00個 大1日10日

擴

八月二十九日 中 折帽子八月二十九日 中 折帽子八月二十九日 限 ヴィスキー 清鐵線七時着車中八月 三 十日 ペナマ帽子 清鐵線六時着車中八月 三 十日 ペナマ帽子 本清鐵線六時着車中 大月 三 十日 ペナマ帽子 本清銀線六時着車中 大月 三 十日 ペナマ帽子 大月 三 十日 ペナマ帽子 大月 三十日 ペナマ帽子 轉

住所 吉野町 テ

目二〇番地 四番地

1 ジ灸 科 高 診 電話三三四 ~院

お技 三る →職 意數 **决名** 選用 近致 をし 間候 は間

京新 Ŀ 九三四五年 洋洋 服 服服 品 界の龍 の御用命は を代表す 兒 3

新型豊富の當店で

## 0 IJ

小路五十

鈴三木公

振順白川、

E

ン勝 2

なかラ

門の名國院洋

明石高人總骨

教の 卷 六大學巡回打診

40-12

對慶應陸上

こゝに彼女の嘆がありま

東都洋畵展

頗る好

々勝

だつて目

ですもの」と、

『アダシ近頃とても旗

へてやる人はありませ

**医** 

六等 五等 一五五〇 14100 14100 

五四三二一 等等等等大 物 约

實業勝つ

の面目羅如たるものがあつた だ選手は見るからに陸上無敵 だ選手は見るからに陸上無敵 があるものがあつた。 は選手は見るからに陸上無敵

菅沼

9

イプライタ

人しく裁判所書記の職にあり 人しく裁判所書記の職にあり 其後行政、司法の代書菜に從 事多年の經驗を有する安井清 院前に事務所を設け民、商、 院前に事務所を設け民、商、 に從事する事となつた氏は公 私甘餘年の体験に基き親切迅 越を信條として受託處理する 動きなれば一般依賴者は便宜

月二十九日 中午

梅ヶ技町四丁目

お技屬 三の明部 頂員設

ツサ

本人直接來談ノ事 4 ス

事務所又は店舗向職意差級町ニュ土ニ

新京輝より東へ四丁 京 電話長二六〇一番

新 対京富士町ニエ



學哲化新定 御客様第一の 派儀社會 御指定 サービスを 新京ホテ ル

56

新装なれ

界長南

月南い相本相 石獄 學部學 來石獄る龍師

【東京國通】第十二回早慶野 がら神宮競技場で行はれ兩軍 が死の善競振りを見せた、總 が死の善競振りを見せた、總 で今年も早大々勝した

一日から商業學校で査をあけた洋書展の作品であるだけに 時諸書伯の作品であるだけに 時諸書伯の作品であるだけに 時諸書伯の作品であるだけに 一日は約六百名の美術愛好 を呼んで第一日目 の一日は約六百名の美術愛好 「富土」「スンパット」梅原 に「ばら」他小品教監が資約 氏「ばら」他小品教監が資約 受期付日 

電話四九三五番

南部線運休か 侵入を恐れ

中央部で善後策協議

中等 九等 一〇六〇 本地

優等清酒

木田藤林田

觀後場所

シネサー

新京支店

ペルピンに侵入の惧れあるので がルピンに侵入の惧れあるので 後策に就き新京中央部に打電 後策に就き新京中央部に打電 がでした、場合に依つては北 で

(錦州園通) 錦州領 新館に達 熱河 寧城縣に 達 調なき島、鈴 調が別官機と

後 で で 元 笹

是倉庫焼失 ル國通ン二日午後二時頃チチハル南大管○○歐の馬糧倉庫より出火し、同歐員並ひにチチハル消防隊等離けつけ消火に努力したるも水利の便綱き爲め同一たるも水利の便綱き爲め同一たるも水利の便綱き爲め同た、原因、損害其他は目下収

書

新京水栗町一九九分イヤ街3 屋 商 會 支 店

東部線で

應

電話四分子の

調べ中である 調べ中である

秋季釣魚大會 一等は松木さん 一貫六百外

即

又も匪襲

世午後飲馬河驛に集合審査の は、世午後飲馬河驛に集合審査の は、異後同六時設列車にて富氣揚 は、異後同六時設列車にて富氣揚 した好日和に惠まれ獲物も多 した好日和に惠まれ獲物も多 なほ入賞者左の通り

移轉先

型 北瀬第一線の縣沿に任じ窓に 型 北瀬第一線の縣沿に任じ窓に 関連に斃れた虎林縣副

財政部開稅科では本年度新規 事業とし税開監視犬の育成配 を買入れ、來る九月十日より 意陽軍犬育成所で之が使用稅 に亘り訓練養成を實施する事 に互り訓練養成を實施する事 となつた、右は國境線稅閥の を

愛媛縣遭難者遺族 連絡、不正事件捜査、密線ギャングの取締対策並に税闘監 市るもので、関門、龍井、安東 並に長城線の各税闘に配分される事となつて居り、この結 氷別までには夫々配備に就き 勇敢なる税闘の守りとして其

岩永副参事等の

救出された喜びを語る 死線を越れ にた

居たが沼澤地に差しか」るや 神られてあつた棚を切つてパ がありた。行くと或る島につい た、その島には簡単なる整線 た、その島には簡単なる整線 た、その島には簡単なる整線 た、その島には簡単なる整線 た、その島には簡単なる整線 がありた。地下室もあつて如

3

リ兩米人の喜び

既製品 大上洋

酸と 先づ御愛顧は==◎

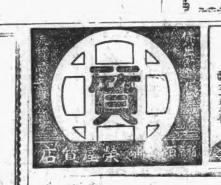
話ニイニーヤ 四 番街

作ら交々語る 作ら交々語る れるとは思はなかつた、我 れるとは思はなかつた、我 に日瀬南閩事警の疾風阻雷 人 に日瀬南閩事警の疾風阻雷

突きつけた順賊の前に恐れ報 には突如すつくとばかり銃を には突如すつくとばかり銃を

内田兩氏は

本件突殺直後我々は首と手を 本件突殺直後我々は首と手を がられたまゝシャツ一枚の姿 のまゝ五、六名の匪賊に護ら のまゝ五、六名の匪賊に護ら のまゝ五、六名の匪賊に護ら のまゝ五、六名の匪賊に護ら のまゝ五、六名の匪賊に護ら を参知つた此處で吾々は首と手を とを知つた此處で吾々は首と手を とを知つた此處で吾々は首と





(母語) 行发李風哈作

宝福

比の栄養

声!

八言

景"

あるい人がしれる…の方と みの歯の ことです



炭 用 電話五三九三番へ 各種木炭專門 命 11 松尾商店







クラブ淡白クリ 白 粉 4 (正價

五十五十錢)

下館事領通日朝 四八三話電 TO I

御用命は成可くお早くお願ひ申上げます 御用のは成可くお早くお願ひ申上げます

神社秋季大祭日來る九月一五日は

ふりん

前迅 速

> クラフ水 たダンな中にも溢れる クラブ化粧の特長です

(正價 五十錢)

淑納 士の禮節 身階み

のみのコバタ

ア

て兩國代表者協議

兩省の問題で十月中には陽 高いのアメリカ丸で音連、林檎

カ丸で膏連、林檎

隊備會議對策の諒解を求む

日四十月二十年九百大

午前林陸相を官邸に訪問し最 を見た根本對策の内容を詳細 が変見の交換を行ったが、更に 七日の腐議決定に先立ち、四 日藤平蔵相とも會見、説明点 はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し 大神陸相はこれが對策察に對し 大神陸相とも會見、説明点 ふ藏相に説明

の後三回に亘つて國務大臣を勤を仰いでも、一に関し、檢察當局は同氏が前を執り、司法に関し、機能問題を惹起してに取扱つて、民族に関し、偽能問題を惹起してに取扱つて、民族に関し、偽能問題を惹起してに取扱つて

匪

年 九 和 昭

**始 大**島參謀長大使

電影と 第四艦隊は九月中旬伊勢灣 等の諸訓練に自然的意氣を 等の諸訓練に自然的意氣を 専賣公署では來る六日より入 議室に於て國內各署の事業科 議室に於て國內各署の事業科 磐手艦長に榮轉せる前駐繭 軍部参謀長藤奈大佐は一日附 社両大使網附武官を免ぜられ その後任として新参謀長大島 事業科長會議

開っる事項等に互り協議し、 を書とり事業科長及ひの事業概況報告、實下價格の事業概況報告、實下價格の事業概況報告、實下價格の事業機定に開する方針、煙度、時億二年度、等質人組合に 

二、吉林省 厚である

優秀で共産黨的色彩が濃

-警務當局

殲滅を期す

ソ聯よ=彈薬の供給を受け、吉林省奥中方面の匪賊は

の八萬に比すれば三萬五千 内のみで全浦を通じ匪賊蠍 以上大體に於て主なる匪賊はは敷年來の討伐で鼠賊を除 の減少である

の株は

杉之原鮮銀支配人歸京談

ミアムがつく

八月一日大演習開始以來

物ともせず急速なる實力の整後水道有明郷方面に在つ豊後水道有明郷方面に在つ

ラスカを經由の

ゾ 航 空 路 開 設

我

が海軍省

解を求める筈である

艦隊の

動靜を發表

合せを行ふ模様である 醜態の 歸還命令 シ マコ 7

主としては同片の収穫を狙主としては同片の収穫を狙って地方を煮っが討伐軍が同へば山中に述入し或は時には火鞭領に週入して鋭縁を遊げ機を見て高領に歸りを遊げ機を見て高領に歸りを遊け機をと素す

寄を試る匪賊は所持の武器、 鐵道沿線に出沒し 列車妨

海軍部で

接待法考究

で朝鮮銀行東京支店で行はれた事務打会會に出席中の鮮銀新京支店支配人杉之原孝善氏は一日韓京して語る特別に満洲にのみ関する間騒はなかつたが本店が満洲に力を注いであることは事に力を注いであることは事

はしくないやうである、滿面金は滿洲同様増加の傾向

全と利到關係によるものでしてゐる向が多くこれは安

T

演習參觀

務省を通じて農林省へ曹観 が提出されてゐる筈である 農林省の意向は檢査の上で 輸入を許可すると根本方針 は既に决定しためだから獲 るは検査に闘する技術的問

では来る九月廿四、五兩日旅 順に於て擧行される聯合艦隊 の近代的演習便乘及十九日よ り廿三日迄大連碇泊中左の要 項により舞覽を許可する事と を期すべく種々考究中であるてこれが接待方法につき萬全

一大連旅順大艦隊の一大連旅順工艦隊九月一、第一、第二艦隊大連より旅順に回航(第一艦隊九月廿四日)の際近代的演習を實施し、滿洲國要人、地方有力官民、學校生徒、腮体等便

構問題解决後

の任命は

現内閣への畵龍點睛を期す

(イ)一般(関東州マ満洲各地)に對しては大連海 海務協會主体になり溝洲日 報、海務協會主本聯合に て之が募集斡旋を負す でとが募集斡旋を負す

照國丸神戸着 土を乘せ

時間で兇悪な匪滅の魔手から と司令官は「ナーニそうで、米人九名を電光石火優か大十 人類ですよ」と曖昧を呈すせる北鎖南部線遺離の人質日 「海軍の御手柄ですね大變」関際的センセイションを搭起 同司令部に助問し た記者

商品配を深閉で 7

見する筈である

ヴィエート航空當局と

しるに

二十八日附で関東區より拓 管されるものと思ふこの無 で所設置の件に就ては既に 本連埠頭に輸出檢査所が設

所に設置するか及ひ檢査方題即ち檢査所を何箇所、何

法のみである

黑河に向い場が路委員

けふ午後新京着

る豫定である お説谷が押寄せて來るので記 ・ 特勝二、宅面通の四氏は四日 つ迄も細くなつてあて如何に ・ 中後三時廿五分薪京に騰還す もうれしさう、大から大へと ・ 特別である お説谷が押寄せて來るので記 が も何時もキラキラ光る瞳がい ・ 被子と共に來稿した資源局後 一笑にまぎらはしたが、それで

陸戰隊の大殊勳に

司令官豪傑笑ひ

お 親谷が押寄せて 来るので記者は刻々にして引揚げたが替 を動物らは「ヤアーヤアー」と 庭からは「ヤアーヤアー」と 庭からは「ヤアーマアー」と を がの本で「ハ、アこの調子で やつゝけたのだな」と微笑を 巻じ得なかつた

お祝客次から次へ

人質救出に感謝 【ベルビン関語】日滿米の関 標的人質は日滿軍際の不眠不 株の電光石火的採躍により二 日無事数出されたに對し、在 所米関熱領事アダムス氏及ひ デンマーク領事ヨルゲンセン より若山〇剛司令命、安藤特 より若山〇剛司令命、安藤特 大だは同道して三日午前九時中 より若山〇剛司令命、安藤特 ク兩領事

は国外院線務應にて統制 五日第一艦隊を主とす) 五日第一艦隊を主とす) 部旅順要港司令部にて斡旋

第二般大速東港へ 第二艦殿九月

佐藤兩大使

十二日新京着

防水材の王

鑛素好評

に東京國通」 岡田首相は關係 「東京國通」 岡田首相は關係 有能の士を詮衡中

は、 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は ることになつたが旅程をの動 藤兩大使は満支視察の途に上 藤爾大使は満支視察の途に上 納治五郎氏、三井合名常務理 丸は三日午前神戸に入港した

き観察の上引返し新京奉天 一泊、十四日へルピンに赴 京煮、十三日同地 一泊、十四日へルピンに赴

水側に就ては実数白余種に及 水側に就ては実数白余種に及 なるが今極新見に於て唯一日 本橋通り科野準行に於て唯一日

月月日日 駅 天

南東の風景

△マヤ板 様理材 古川商會 意三九三世山 が甲板

頁八共刊夕紙本

設行所

M M 17 \*\*

49 MM

せらる 4 野犬綱除に對しては 東日 出 夫 就では、

讀高G聲

**◆**ずらとは傷中・ 事の記明解件名氏

分の一の目的をも達

近來又類々として咬出る事を断言して悩

司法當局慎重 かるる。最近類々と超る満洲関軍隊のから、最近類々と超る満洲関軍隊の

頃工業區國民市場にで第一(奉天國通)二日午後二時

滿洲國軍人

巡警を傷害

けふ又復召喚か を有して居り、

下首脳部の意見は、本事件は 前へ関を崩壊せしめた電大車件であるのみならず、主とし であるのみならず、主とし であるのみならず、主とし に関係人の陳述を鞭糠として に動揺を来す様なことがあっ てはならないとの理由がら、 ではならないとの理由がら、 ではならないとの理由がら、 曾ふに起見一致じて居り、 倚眞戦を否認するに於ては盾石嶼、最等努力を盡した上で

協議でより事無きを得たが 商埠地憲兵分遣隊員の機敏な

百六十五日

二土前鐵相の偽證

を である。 である。 何本徴々たる である。 何本徴々たる である。 何本徴々たる である。 の問題などに頓着せず即対 ぬ彼地では十年前から一年三 興除法』を問題めせればなら 居て尚其の足らざるを修み日 を通じ是を行つて ねばなら

ムマーのマークを書き込んで 以下数行の不穩文字が青イン あるを課手が競見、

17飛び人心動揺の折柄相當重量近日滿り開職のデマさへ肌 組け出でたので、高等係では 人心動揺の折柄相當軍

(大連國迪) 八山滿機副線裁 八四副總裁新京へ ●大原萬千百氏 (地方委員 \*\* 長) 三日午前七時率天から 長)

事

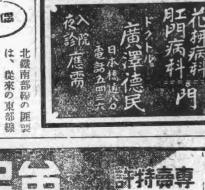
往來

本大驛二等特合策前便所の瞭「本天驛」等日本前人時頃 さとを命じたが、場合に依つって予報り週1三十首・オー ことになる機模である。 奉天驛に **庭なる首都新京の土建界に於いふ優秀防水材にあり建築旺** 混入し六十尺の水脈ある場所 に於ても決して透水しない の結果效力絕大なるを立即 學、商士試験所等に於て試 で斯界の撤蔵者本 山大學土研教室、東 ト中に一朝乃至二朝

けられてゐる る鑛素の需要多大の期待をか 山口鐵道部次長

新任挨拶のため三日午後本社補鍛鐵道部大長山口十助氏は 挨拶に來社

らの 資金を仰がなくとも日後の満洲 は金は別に他國か 多大な関心をもつてをり、 も満洲への投資については も満洲への投資については ができないので日本の資金 本だけで元分であると思は らの資金を仰がなくとも **すればすぐプレミアムがつ** 今繭洲への株は日本で募集 夜鈴應需



の資金ではこれを補ふこと 等兵は壯烈なる職死を遂げた額を要し到底滿洲関内だけ 備膝高い勇伍長、平井外吉一川への資金は今後も相當な 走したが右難嗣に於て我が守はしくないやうである、滿 賊は多數のが体を遊棄して逃 匪賊を撃破 泰東北方で ▼拉致されてから、寒還まで も一名の機性者も出さず、日 米人の人質全品を無事敦也し たなどは日本海軍防備隊の功 あつたのだが、日満軍懲の機は、更に残された重大問題でに外人達を如何に救出するかに外人達を如何に救出するか して「鬱を立てると殺すぞ!」 と威嚇されながらも、大摩に 叫んだ吉林公署ハルピン特派 のいた古林公署のルピン特派 火遂に葬還数出するに至つた、電光石 ものであらら▼が事競見に のそれと違つて にない大きなショ にない大きなショ 儒 いふべきもの▼不幸

> 至和多法的です 器を御利用下さい の時、環路 三器



社会名合亚玉 炭灰 的现代籍 社會式排產物 非三 店理代外海 所簽製村本 社會式株 元 遺 製



家朗ら か

「大大上」する超特念の客に世界第一超急行列車を目論 選道工場で建造を急いでゐ を出す爲、車の構造上にも種 一方人上 する超特念の客 に世界第一超急行列車を目論 一方が、豫定では今月廿日迄に 々の新設備が包含され機関車 一面列車分十二輛が完成、直 から最後の展認車まで一個の ちに試運轉を行ふ筈である、 流線形で床下に貫空個所の出 も たの客車は満載が最高技術を 来るのを防ぐためにボデーか 心 を出す爲、車の構造上にも種 部 がら最後の展認車まで一個の もに試運轉を行ふ筈である、 流線形で床下に貫空個所の出 も を出す爲、車の構造上にも種 部 のの客車は満載が最高技術を 来るのを防ぐためにボデーか 心

客車を全部

ででは では の色は鮮かな緑で白緑が一本 部が出來上り ||日下 ||車内設備中である地よいものである

昨年より激減

行で工事を急いだ結果特殊の期架設電話は工務所が査夜覚

二件は二日をもつて

れ乍ら三日早朝大連水上署

(元小關樂器店)

日

信

洋

行

移場の高め左記へ移店致しましたから從前通り宣表を業務機器の高め左記へ移店致しましたから從前通り宣表を業務機器の高め左記へ移店致しましたから從前通り宣表を業務機器の高め左記へ移店致しましたから從前通り宣表を

第本床級用材商 **平和洋行** 

辿をみ電話局では

本關係者に多いやうである、 通話の有効時間は七朝五分か能となるわけであるがこれと にも後想以上の好成績でなほるでなほであるがこれとの百三十一通話、 着三十三回

無線電話の利用者 **約凉園を利用したに** 日を追ひ増

須彌驅蒜廟『札什倫布』 普佑寺 名稱 座數 海蛇宗釆廟『補陀落』30 海に寺 海等寺 - 二

第位千四)

修理される

各町内會は

地方行政補助機関

同時に聯合會も組織

機工話高價買入

金融月賦販賣

カフェー店名

商品擔保貸付

(倉庫売備)

金

融

申締

紙は官製ハ

條通

食道樂

話二五五四番

金

切 金

九月五日 拾圓一名

(九月五日附滑印あ) ガキに限る

(壹等當機者)

熱河各古廟

5658

全倉を見いた結果、各様に共通した町内規則を制定すること」なり、更に各町内倉の聯合の本なり、更に各町内倉の聯合の本のものである。 務所で目下これが規則を制定 中であるが、新しく組織され 判明した二百十日を翌日に控 スール率天丸 (二九七六噸) メール率天丸 (二九七六噸) 林恵鍋(一六)は鹽仲の畵家符を持つた女學生風の女船客 符を持つた女學生風の女船客 船客に侍る二等ボ

及日掛(五人)

助機關として設置されるもので、この意味において一般から多大の期待がかけられても 宮内府の 乗組員であり乍ら、無慘にも クアップして不屈きにも身は、 同コック徐存廛(二四) て旅馴れぬ林惠娟に近づき物房夫尙懐政(三三)相共謀し

他来のそれとは全然意義を異 にし、いづれも無方行政の補

今秋流行新柄帶側とセル地

② 村岡吳服店 豐富着荷陳列

二色造炭

何卒御利用を…!

學問

先月一月で四百五十六通話

新電話簿

月早々出來

構内僕役炊事場より出火、急三日午後零時五十分頃宮内府

念

て交互に弄んだものである、午後八時より約一時間に亘つ

客音器レコ

ードに洋服附屬品部も加えてて皆様の御來店

に御知らせ

を御待ちして居ります

器なら何卒弊店で

新京東一條通。

だけに一時は大騒ぎを演たじたのみで午後一時鎮火した原たのみで午後一時鎮火した原たのみで午後一時鎮火した原たのみで午後一時鎮火した原 米若一行 がくて率天丸大道に入港する。 や限りなき 侮辱を受けた林は 告者と對决、目下設軍取關中とは以顧をして働いてゐた前とは以顧をして働いてゐた前に三名を水上層に引致して被配三名を水上層に引致して被

話番號簿の作成を 木加入者

に配布する予定である

内に新京輸入組合店員表彰會 新京輸入組合では今回同組合 近く新京へ 三日から大連で興行中の海々 木米若一行は大連打揚後、溝 株米若一行は大連打揚後、溝 なつであるが、新京では柔る 十一、十二兩日興行中の海々

造作付店舗至急譲渡シ度御希望ノ方へ

電話四八七八番~

外交販賣員募集

希望の方は本人來談ありたし

新京曜町四丁目六

大正寫眞工藝所

所 城內東三馬路

店

舖

組合で

を悪用し

を極刑を以て全國的に禁止し【北平三日殷國通】麻薬吸飲 排毒所長銃殺 前擬雌したばかりの前途有意 脱出魔児島縣出身で約一ヶ月 原は鹿児島縣出身で約一ヶ月 七)氏は四、五日前から病氣十二號新京轟々手中園萱(二市内常駿町三丁目十一番地二 のため新京警院に入院加療中 **滿鐵中園氏死去** 

表彰を行ふことゝなつた、新を設けて動機並に模範店員の

住消息

新町五丁目錦y 2十號 本 店 圭 小 闕 巻 店







### (前裁判所書記、行政、司法代書人) 安井清英事務所 電舒五六ー

▲村上良太郎二百十五號室へ



#### 一日出生 ・高瀬君雄氏(芙蓉町四丁目 ・高瀬君雄氏(芙蓉町四丁目 ・高瀬君雄氏(芙蓉町四丁目 ・高瀬君雄氏(芙蓉町四丁目 ・一番地)三十日午後十時死 ・一日出生 一四女淑校さん三十五郎氏(曙町四丁目 雨前 移張擴

七

事故防止策

入しくかへりみられなかつた れ子祭も聴鬨と同時に満洲園 かつては官祭として爲政者の かつては官祭として爲政者の

ので例年の如く南隅の孔子順 ・十三日は仲秋上丁の日に當る の儀を行はせられてをり來る

三、 常日は歴生及一般参拝者の二回奏樂を行ぶ

者指揮の下に行ふこと

を期し建國及奪孔精神音及の 経め左の日程を以て巡回講演 及映画の巡映を行ふこととな

本天丸乗組員本天丸乗組員

出席者は三十餘名の豫定 の東站において開催される、 ら東站において開催される、

京圖線第一回

十三日の孔子祭

二、學生及一般自由多拜は恭 代釋奠終了後とす

其他一般代

京一深町電院前

立賜はり度願上ます

今年も盛大に

鄭總理を欽派さる

巡回講演と

映畵の會

新京戦道事務所管内列車 新京戦道事務所管内における 大月一日から八月三十一日ま での源轉事故は十四日の十件 を筆頭に殆ど毎日事故を生じ を筆頭に殆ど毎日事故を生じ 中代場所的にみれば楊木林虻 件、場所的にみれば楊木林虻 件、場所的にみれば楊木林虻 中間間の責任事故が七件で最

部夫長以下民政部、翻東軍・部夫長以下民政部、翻委員長保民政・部夫長以下民政部衛生司の第一部の下に満州事情案内所會に満州事情案内所會に満州事情を対している。

る可く明年度豫算に郷費を要求した、尚今後新造で、

ら共謀し得意先から一千七百 の一丁日奉天浪速通白澗夜具商 の一丁日奉天浪速通白澗夜具商

のはず

至町、西廣場兩校父兄會で

日下より

/ 計畵

京ではかつて入九年前に長春 商店協会が一度店員の表彰を 行つたことがあり、これは経 費の勝で中絶してゐたもので 同表彰会では毎年六月の一日 同表彰会では毎年六月の一日 日に行ふこと」なつてゐ たから該営者を申告せしめて

北平公安局排毒所長殷煥然は

政府今回の禁止令を見

く開始せる

男氏は今産撫順陽院へ榮轉新京縣院分院事務員小野瀬

いので、満蝿では今回優等市

車は二、三年前より改造には全部スチールカーとし三

日満聯合の

防疫委員會開く

父兄會を開き本式に猛運動を 結果によつて更めてそれぞれ を関査に着手した、その がといて来事度の入學志馨

カ運動したい積りである でも复業が出来る程度に極 でも复業が出来る程度に極

店から該当

▲ 菊地賞氏(長崎縣)大和通 り大同隣院へ り大同隣院へ 星町壁軍官舎五十五號へ 星町壁軍官舎五十五號へ 経過り八十五號へ の大同隣院。

を父兄會の某幹部は語る を父兄會の某幹部は語る

城内からの

電報は

城内局を

御利用の事

待に副ふ决心です、何卒格別の御引餘年の體験に基つき親切正確を信條此度上記へ開業致しました公私二十

市公署

近く永春路の角にある

開始するはずである、右につ

分擔方法等協議

月中の

造車であるが、之等は脱線値用してゐる優等車の過半数は用してゐる優等車の過半数は用してゐる優等車の過半数は

■保安方電氣方共に二ヶ月 本保線區線路方二ヶ月△保安 ヶ月

新京分院の

第二高女新設運動

小野瀨氏榮轉

ケ月 方、電氣方、修車方共に二 中のところ二日新京場中谷刑 方、電氣方、修車直検車 六十圓を積積消費し行方不明

横領店員逮捕永秦町

非常事故防止の為

東二條通橋南渡る左 一陽堂

ペマツサ 關治療院

付御報文第多上いたします

, y

しかしされは酢矢輪の砂果であった。

あざけるやうに言つ

單なる權力

体である」と云ひ得るであら ない「協和會は思想性図園 体であらうか、政黨でもなく

健康第一

体として始めて建國に特異性を有する新生滿洲國の特殊な建國圏体であり將來性を有する團体として力强く前進し得るのではないだらうか

(二) 呼旋

曹革命であり政治革命は

王道國家建設への過程

(E)

三00年

秋季競馬

曾

を語

3

第七號馬(人職)

人〇五 經濟市日 (東京より) (東京より) (東京より) (東京より)

NA NA

(神間)

全 至 昭和五年十一

九百八十六貫五十四銭也

は和會は社會革命助成園体として行動すべきではないだらうか、勿論特殊的國家である 本であるが、それは協和會の 使命の一要素として達成さる できであつて、協和會はあく までも社會革命助成を目的と した機關として行動さるべき ではないだらうか 一が鉄除されて居り、これを 東も必要とされて居り、これを 最も必要とされてゐるため、 協和會創設言初の使命として 國民的信念の歸一の具体化が 要げられ「協和會は思想越國 個体である」といばれてゐる のである、然し乍ら將來の協 として遭むべきであらうか、 第五日目成績第二日日成績 第三蔵馬(六頭) 第三蔵馬(六頭) 等外 (單) 一四國 第二數馬(四頭)— 第二數馬(四頭)— 第二數馬(四頭)—

版が在住すると云ふ差異こそあれ、現在各國に國民として數種の民 を動い、現在各國に國民思想統 一を目的とする数化噸体又は 社會事業團体は精神的結合團 物体であるにせよ世界の一角 動体であるにせよ世界の一角 動体であるにせよ世界の一角 の建國團体として世界にその の建國團体として世界にその の建國團体として世界にその (一)天成(騎手車 (軍) 一) (職) (一) (職) (本) (一) 在 四國大〇錢 (二) 五國七〇錢 (單) 六國五〇錢 (單) 六國五〇錢 (單) 八〇四 (一) 天成(點手高尼) (一) 一一一國一〇錢

(二) 右近 (二) 右近 (二) (復) 五鷹一〇錢 (二) 四則〇〇錢 (二) 四則〇〇錢 (二) 四則〇〇錢 (二) 四則〇〇錢 (二) 四則〇〇錢 (單) 二一個 第十一歲馬(六頭)二〇 第十一歲馬(六頭)二〇 第十一歲馬(六頭)二〇 

食の思慮の化身となっている。 五五〇五三 六つ〇ニュー 五二〇コドモ 宣話的白百 

一夜)東京より 東京より)

四日(火曜)放送番組新京 午前の部 一年前の部 「東京より」 大二〇ラギオ體操(隣語) 大、四〇 葡語講座 大、四〇 葡語講座 三、落語 八、三〇 吟報、ニュース(東京より)八、四五 ニュース(東京より)八、四五 ニュース氣象通報 番組強告 一九、〇〇 演藝 (清語) が識り が識り 都家香津吉 同解丸 同解丸 同解丸 同解丸 同解丸 一人辞 一人辞

(一)新京(騎手田中)

(二) 四頭三〇銭 (二) 四頭三〇銭 (二) 四頭三〇銭 (電) 五頭一〇銭 (電) 五頭一〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調三〇銭 (電) 一五調二〇銭

**電石三九五西** 

鮮魚小賣 九三〇尺八都山流 都山流 秋元庭 和 夕 瓜 和 景彦 合つてゐて、此方の容子をみやう 向け、あれこれと心中になって話 とする者など一人もなかつたっ

しつかりやつ

五六院程行

つてからつ

了った。

にそのまるに過ぎて 武士は吉兵命の万へ

名判決の特赦 カナダ検事懇長、ホーヌー、 カムミング氏は今禄ジヤン、 バルジャンと謳はれてゐるカ ナダ市のある町長フランク、 グリーデウエアに對して名判 決の特赦を行ひ二人とも市民 経護の的となつてゐる被告は 一九〇九年ネブラスカで郵便 「八り現在町長に迄なつてゐる に入り現在町長に迄なつてゐる

(二)快殿 ・ (二)快殿 ・ (二) 快殿 ・ (二) 一五間〇〇銭 ・ (二) 一五間一〇銭 ・ (一) 四間九〇銭 ・ (一) 四間七〇銭 ・ (一) 四間七〇銭

ラジオ第

れてるたっ だが騒い吹心の様が節にあらはれ 小学で別の言葉を述べ 配はチラとその顔を見たのであった。 「さうでございますか、親分を

完

六、四〇 葡語講座
七、〇〇 日語講座
七、〇〇 日語講座

正人は帯車の前へ脚り、車車を 度に開網を上たが、前ぐ車は動き 限に開網を上たが、前ぐ車は動き 古兵衛とそれまで でありませんか。打ち聞くつて来 あっとびつくりした。 歴を動けたち やうものなら かれて、見迷して丁 だとは風附いたんだ ばから なく答へたる

アッシェハ車タサムタイコヒササニ小テ活ュナジワ エョ ワノラ ハマス 側側 ニーンミビモビコリッチシンメバラベ側側 ニーニーニーニーニー

九六五〇三〇三〇七七七二〇〇三五

(職権、シコード (職権、シコード (職権) (職権) コース(日語) ( 漢天 より ) ( 楽天 より ) ( 楽天 より ) 田た人達が機光の中に助いて四五 間先きの近くにみられたが、それ 其側を強つても先を急いで即降らて火事圏見物や見難に走る人躍はて火事圏見物や見難に走る人躍は たのが感びであった低くはがあかれ、さらして潮大郎や寮村を抱へて来た乾分二人の手で御卓の上に 背に繋ぎ、際床をけつ れからあたりの冬子を窺ったが、自分がのがれて來た方を眺め、そ つてあるのである。 奈夜牛編の 標車は角屋敷の高駅のドに横た その間を音兵衛は目を出らして 職味をけつて家の外に 前方から、好方 さらしてそれさらしてるたちで 室の耳にも聞き た。古民前等は あつた。 難げたが、 吉兵町等が をだっ

東京京

7. 無行 加展

00

御希 來望 移店廣告 食堂經營者 大東談者 同六をは 報馬請午 ふ前中 左

一教師生稻寅松先生 一教師生稻寅松先生 新京支部 京京部 由込新京吉野町一丁目 吉 泉話三二六一春 野

中

新京、祝町三三(関売前)

二十八災。事為社電五六六九番赤津迄

確實ナル商品――名聲アル商標 類 發賣元 加 满洲金物株式會社 オリエンタル TRIOTAL RIBERK MARK 質量高級金物は 川本式 プ かないから 11一人ではない 出支工本 張 所店場社 新京永樂町ニノー大連市伊勢町五五

空 備 間に 膏 44 是非御利 描き 3 人樣迄の 加 出 0 3 用 交 大小 れた 0 宴會に

話增設舊二七二四番 竹食堂 記 邊

藥

化衛處 粧 生方 디디 其材調 薬 劑 師

阪下千代子 藥

局

番九七五五話電 〇六り通條三東京新

日; m る足形であった。 ら、前兵部は足と 舊市民會警備費收支 本書

にあらはれて來たのと一緒になっ

の男が附き流つてる 定つて來る武士が

はそばへ寄ったので

は、中にした掲灯を繋げて此方を

。 対方へと響酬ばきの高 等が押小路近くまで來る

四、〇〇官廳二

馬口の随れ家へと

地方事務所長 有所長 在鄉軍人聯合公會長 

並一百七十八圓二十錢也 並七百八十一圓三十七錢也 一千八十一圓五十一錢也

預寄的 類 分 附 利 子 金 名

局

(四)

ム側腕卷時計

本

行

銀象嵌宣德銅火鉢

**平鉛仙座蒲團** 五枚組

**參拾名樣** 

簡單で面白い

尚

の女

y 組宛 台宛 棹宛

五拾名樣

ナナオララデ

才

など一パールコ

對

定選御點一品のみ望お内の配上は等貳

ル化粧料詰合凾

個宛

五百

名

原料香水大

リデ

1

中

瓶

一個宛

壹千

名

伽生口鍵

五

壹 萬

名

包宛

萬

名

全國藥店各位 得て廣く全國愛用家よりの答案をを計畫し、販賣店各位の御協力を今回本紙上發表の如き大懸賞募集 募り 微意の下に本懸賞募集に闘する材 なき御店は至急御申込下さ 併て各位の御盡力に酬ひ度き

用効其と劑配のルーズ力 ルトクド 問顧劑製

清凉劑及美音劑を配合す **貯盛にし戦争

がた相俟つて

財産の

強壮を

計らしむ** 

與奮劑及强壯劑を配合す 脛骨整腸膏を配合す 中に於て殺菌するが酸に種々の傳染病を輩助す 從つて胃を鬱至にし肚子の微化力を方迹し食欲を構造せしめ下物。 臓カタル等に整限がは器態態と相談力してこれを治療す

從つて心外の物勢の試したる時には各機能を顕微せしめ外がを開放 悪熱を配き、供続難は靴板

**常駅を単化し、従って標軸を実現ならしむ** 

問って空転及は脱倉婦と共に印版より使べしたる機械の解別間を印 中 祝 菌 暫 を 配 合 す

と價定 量容

茶金面製美術客器付 2 

回

0

東京市日本橋區水天宮前 盤安藤井 筒

當りも多くなります。一人で幾枚でも出せます、 皆様の御便利の爲各地のカナー で答案のお取次ぎを致して居ります。

カメールの効能書 答案用 其の 書紙 충 方

左の順序でハツキリお書の餘白へ又は他の用紙へ き下さい (袋入は其の上包の効能書

萱・貳等賞品の內 お望みの品一點づり つた 0 發當 締 表簽 切

答

0

0

0

正解者多数の時は最正抽正解者多数の時は最正抽正解者多数の時は最正抽 昭和十年一月下旬

三、

御覧にな

新聞名

四

御 住 所

氏

名

昭和九年十二月末日

答案の送り先 東京市日本構區水天宮前 東京市日本構區水天宮前

答案はすべて楷書で明瞭答案はすべて楷書で明瞭

造り 方

答案の

懐中護身薬の名は何か?

口衛。錠生

有名な

口より入る病を防ぎ

神

を爽快にする

課

題

なでも多い程 ル販賣店